

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松 佐一
第124号 2003年11月10日

愛労連・愛知春闘共闘

2004年国民春闘討論集会

とき 12月6日(土) 13:30から
7日(日) 12:00まで

ところ サンパレア瀬戸
(愛知県労働者研修センター)

秋の組織拡大月間

パートや臨時を組合に



北医療生協労組
島崎 宏行 書記次長

愛労連は2003年秋の組織拡大月間を10月15日から12月15日に設定し1000人の仲間を迎え入れることを目標に、各組合では組織拡大に向けた奮闘が始まっています。今回の月間では急速な勢いで増加しているパートや臨時職員への働きかけを重視していますが、加入の働きかけやアンケート調査を実施した北医療生協労組と名大生協労組で取材しました。

あじま診療所のデイケアは9年前にオープンし、現在は1名の正規職員と11人のパートで運営されています。「労働組合や働くこ

ろに必要になっていく」と話すのは北医療生協労働組合の島崎書記次長。この秋は思い切った加入を訴えようと10月25日、同医療生協あじま診療所に働くデイケアパート11人に集まってもらい組合説明会を開きました。

「医療改善が次々と進められる中で経営も大変になっていくが、しっかりとした労働条件を築き、この地域で良い医療をすすめていくためにはパートのみならずともスクラムを組んでいく必要がある」と話します。



あじまデイケアのスタッフ(後列の女性4名が組合加入した仲間)

北医療生協労組

「良い仕事をしたい」デイケアパート11人全員が組合加入

北医療生活協同組合では現在160人の正規職員に対しパートなどの非正規職員は158人で半数を占めています。労働組合には正規職員の8割が加入していましたが、パートの加入は1人だけでした。



北医療生協あじま診療所
デイケア看護師 吉田美加さん

職場では時間内に仕事を終わらせない実態もあり「このままじゃまずいよね」「どこかに伝えたい」と話したのはパートで働く吉田美加さん。職場で中心的な存在の1人です。

職場では時間内に仕事を終わらせない実態もあり「このままじゃまずいよね」「どこかに伝えたい」と話したのはパートで働く吉田美加さん。職場で中心的な存在の1人です。

パートの要求つかもうとアンケートを実施

名大生協労組

名古屋大学生協は正規職員54人に対してパートやアルバイト約300人が働く職場となっています。「名古屋大学生協の職場はみんなバラバラで、学内に点在する食堂や購買、書籍、旅行サービス、印刷などに正規職員1人、2人とパート・アルバイト数名でまわされています。中にはパートだけの職場もあります」と話すのは名古屋大学生協労働組合の原田執行委員長です。

同労組では、今年7月末に始めてパート労働者に対する要求アンケートを実施しました。夏休み前ということもあり、約1000枚でしたがアンケートを手渡しで配布し、郵送で回収。65人から回答を得ることがで



名大生協労組
原田 清美 執行委員長

きました。集計では、要望について一時金、定期昇給、退職金制度の確立と続き、組合への関心についてもアンケート実施だけでも議論になりましたが、寄せられた要望はあたりまえのものばかりでした。「いまの規約は正規職員しか対象にしていないのですぐに組織化とは行きませんが、このままではいけない」という気持ちもみんなにあるので前向きに」と話し合っていくことにしています。

できました! CDサイズの組織拡大リーフ

11月19日にとりくまれる秋の地域総行動では組織拡大が柱となっています。この行動で配布するCDサイズのリーフレットができあがりました。地域での配布だけでなく、職場にも届きますので家族や知人に渡すと同時に、職場の窓口におくなど工夫を。



配と11人全員が加入し、11月20日の初団交に向けて元気づけたいです。

くらむ

12回分の放送7時間59分05秒の中にわずか46秒。NHKニュース10の中でイラク戦争の放送のうち日本国内の反戦運動を放映した時間です。先日行われた「テレビはイラク戦争をどう伝えたか」という集いで資料がさらされました。少ないとは思っていましたがこんなにひどいとは。たつたの0.2%です。ちなみに同じ放映日のNEWS23は7.1%、ニュースステーションは1.3%でした。

この他にも報道の順序やコメントなど編集姿勢についても分析されています。「市民がモノを言ったら有効だ」という瞬間が何度あったか、内部でも迷いながらやっている。そんな時、誰かが何か言ってくれないか期待している」と放送制作者の生の声も聞かれました。多くの批判を受けながら、各局では「戦争報道指針」を作っています。総選挙はマスコミの流す「二大政党論」の中で行われました。ある局の世論調査では「あなたは自民ですか民主ですか」と聞かれ、「党です」と答えたら「ああ、その他ですね」と。二大政党であることが大前提でした。しかし二大政党を占めているのは世界中で米・英・豪くらいしかありません。イラク戦争と同じ図式です。これに日本も...。なんと危険な構図です。今回の総選挙報道についても今後分析が行われます。(K)

おぼます

NO.22 自治労連

「子供の頃から船が好きで、プラモデルやラジコンのおもちゃも船ばかりでした」と話すのは、名古屋港管理組合の海務係で技師として働く竹内俊博さん。このしごくに就いて8年目になります。以前は大型船の接岸



竹内 俊博 さん
名古屋港管理組合
職員労働組合

港の安全を縁の下からバックアップ

を補助するタグボートや知多半島の師崎港と渥美半島の伊良湖港を結ぶ力一フェリーの航海士として働いてきました。巡視と測量で危険を排除

名古屋港の港湾区域(水面積)はとても広く

この広大な港湾区域を安全に保つために巡視や測量を行うのが竹内さんの仕事です。業務内容は多様で、港内の航路や岸壁などの係留施設が安全に利用できるように異常がないか巡視と管理をし、海難事故や災害に対する出動業務、港内での

2000年2月、名古屋港にそそぐ堀川に1頭の雄シャチが迷い込みその救出にも、南知多ビーチランドや名古屋港水族館のメンバーとともに同管理組合からも3隻の船が救出作業に出て、7時間かかりで無事に伊勢湾へと逃がしてやることができました。

約83キロ平方メートルで、熱田、中川、港区の合計面積に匹敵します。また約150の国や地域と貿易で結ばれ、1日あたり100隻以上の船が入港し、その取扱貨物は年間1億5千万トンを超え日本最大を誇っています。

各種行事における巡視、船が座礁することの無いように水深や障害物の測量調査を行うことなどが中心です。港内施設全体の巡視には1週間もかかりません。

水資源機構では「事業を継続するのに各自治体に同意を得るのは我々です」と責任所在を認めました。しかし、その手続きや期限、建設費増額に伴う各自治体

徳山ダムに追加費用1010億円 ハッキリしない工事計画 革新市政の会の申し入れで明らかに

わずか20%の進捗状況にもかかわらず、当初の総事業費2540億円をほとんど使い切り、今年8月に1010億円の増額方針が打ち出された徳山ダム建設。事業の主体は水資源機構(旧水資源開発公団)で、水利権を確保している愛知県や岐阜県、名古屋市などが費用を負担していますが、10月23日、革新市政の会は建設費増額の全容を明らかにさせ、建設中止を求める申し入れを名古屋市と国土交通省中部地整河川部、水資源機構に行いました。しかしその回答はいい加減なものです。

名古屋市の国が決めることと無責任な態度

名古屋市の申し入れでは、市長秘書室長および上下水道局総務部長と同課長が同席しました。市側は「建設費の増額についてはいつ決まるのか、いくらになるかは国が決めること」「事業説明は受けたが、それが良いかどうかは今後の検討」とコメントしました。革新市政の会は、「木曾川水系の水余りや人口減少が顕著になることで市民にとっては大きなムダ。さらなる追加など応じられない。ましてや、わからないことばかりではなおさらだ」と



徳山ダムは土と岩を積み上げてつくるロックフィル式。山の斜面に引かれた白い線にそって核となる土石が積み上げられるが、今はまだ土台部分の整地段階。

市の姿勢をただしました。国土交通省 答える立場にない と逃げてばかり

国道交通省中部地整河川部では、何を聞いても「答える立場にない。申し入れは受けて上司に伝える」という態度に終始しました。これに対して革新市政の会は「今後ハッキリと説明できる場を設けよ」とその場で再度申し入れました。

9月22日、ホテルプラザ勝川で働いていた川口さん、高瀬さんの2名は、名古屋地裁で地位保全・賃金仮払い仮処分命令を勝ちとることができました。

退職強要を行い、4名に退職を強要する一方、知らない顧問弁護士は整理解雇基準についての回答を先送りするだけで中身を先送りするだけではないと、組合は2名の弁護士と相談を続ける

全国一般ホテルプラザ 勝川支部に仮処分勝利決定

その後、和解交渉に社長も出席するようになり、その社長が特別責任容疑で名古屋地裁に告発される事態も生まれています。しかし、組合は1日も早い解決に向けて奮闘しています。(尾中地区労連発)



10/18-19 第8回機関紙宣伝学校には例年を大きく上回る80名が参加。5つの実践講座に分かれ腕を磨きました。



10/23 財界や政府・与党は消費税増税大合唱。名古屋学院大学の安藤実教授を迎えた消費税学習会に103名が参加。



10/23 地労委労働者委員の公正任命署名を県知事に提出。第1次分は、個人署名が25,912筆で団体署名が1,309筆。



10/24 賃下げ・首切り許すな、国政転換、全県労働者決起集会には県下から1500人が参加。

Topics

愛労連新春フォトコンテスト

当機関誌新年号紙面にてフォトコンテストを実施します。自慢の作品をご応募ください。

【応募要項】
作品のテーマは自由で未発表のものに限ります。サイズは2L以上の物とし、デジタルの場合も必ずプリントした物をご応募ください。(作品は返却しません) 応募にあたっては、タイトル・氏名・住所・電話・組合名・作品へのコメントを明記して同封してください。しめきり12月20日、愛労連必着。(住所は1面の最上段に記載) 審査により最優秀には1万円、入選には千円の商品券。

第11回 国民春闘(宣伝用) スローガン・シンボルマーク募集

- 応募先 〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 募集内容 働く者と国民各層が共にたたかう国民春闘にふさわしい作品を募集。
- ① スローガン(04春闘用)
- ② シンボルマーク(永久使用)
- 応募規定 ① ②とも官製ハガキを使用。①は黒の筆記具を使用し②は彩色せずに黒1色で描くこと。余白に住所、氏名、年齢、電話番号、所属組合名を明記。応募点数① 1枚1点で1人3点以内② 1人1点。
- 応募資格 不問(家族も可)
- 賞 入選各1点 10万円 佳作各若干 1万円
- 締切 11月30日 消印有効
- 発表 12月中旬、入賞者に通知

